

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2015年7週の県全体の定点当たり患者報告数は、6週の19.60から減少し12.54となった。減少傾向にあるものの依然報告数が多い状況が続いている。

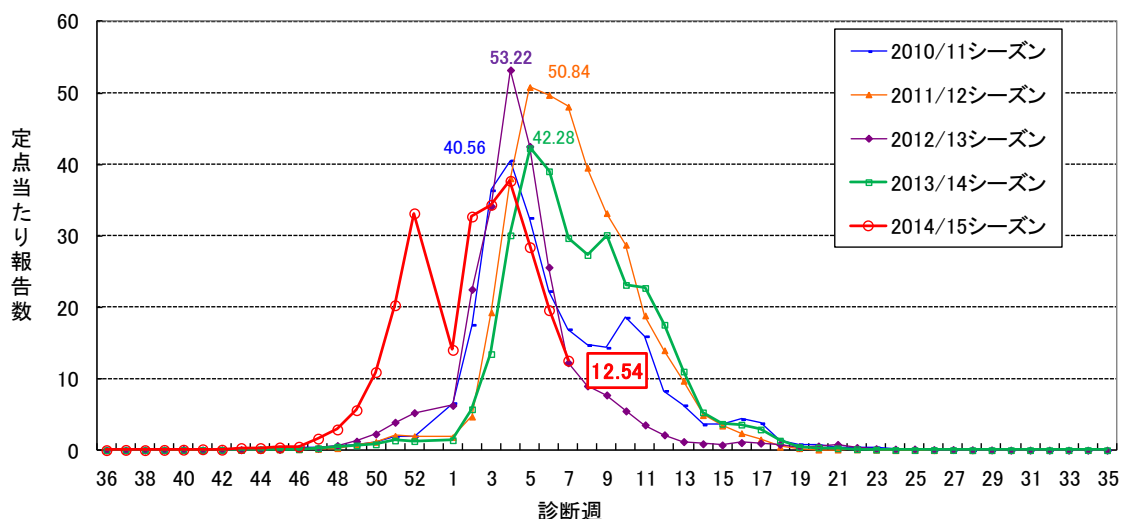
千葉県健康福祉部疾病対策課 インフルエンザについて
 URL: <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/index.html>

保健所別の定点当たり報告数は、県下16保健所全てで警報レベルの30を下回ったが、松戸(20.44)、長生(17.14)、印旛(15.79)、山武(14.22)、海匝(14.14)が多い。

2015年7週の年齢群別報告割合は、5～9歳31.9%、10～14歳18.2%、0～4歳17.9%が多く、2014/15シーズン全体では、5～9歳28.8%、10～14歳19.3%、0～4歳15.7%に多い。

2015年7週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、2,512例中A型2,259例(89.9%)、B型222例(8.8%)、A and B型4例(0.2%)、A or B型27例(1.1%)だった。全体の報告数は減少しているが、B型の検出割合が6週の5.6%から8.8%に増加した。2014/15シーズン合計では、50,371例中A型48,724例(96.7%)、B型1,226例(2.4%)、A and B型20例(0.0%)、A or B型401例(0.8%)だった。

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

